

北光

第157号 (平成26年10月25日)



北光会

(<http://www.hokkokai.com>)

秋田 鉾山 専門学校
秋田 大学 鉾山 学部
秋田 大学 工学 資源 学部 同窓会
秋田 大学 国際 資源 学部
秋田 大学 理工 学部

秋田大学オープンキャンパス開催



HOKKO ちゃん
紹介 (p.42)



Illustrated by まーぼー

今号のトピックス

- 平成26年度第1回理事会・通常総会報告
- 世界記憶遺産鉾山博物館に寄贈
- 秋田の風景あれこれ
- オープンキャンパス写真特集
(各学科の頑張ったで賞受賞研究室の声)
- 支部便り…北光会東京支部一木会

など

山本作兵衛さん原画寄贈 (p.1)



通常総会 (p.5)



秋田大学蹴球部紹介 (p.18)



《卒業生の父母の皆様へ》

本誌送付先の変更を希望される場合には、北光会事務局までご連絡ください (北光会事務局 TEL: 018-835-9822)

目 次

北光会年会費・活動支援寄附金について

年会費銀行口座自動振替のお知らせ

山本作兵衛氏の炭坑記録画 鉾業博物館に寄贈される…………… 1

巻頭言…………… 中 村 靖 …… 2

会長便り…………… 菊 地 芳 朗 …… 4

平成26年度北光会第1回理事会・第63回通常総会報告…………… 5

輝け秋大生

秋田大学蹴球部…………… 18

秋田大学奇術研究会…………… 19

学生の声

オープンキャンパス「頑張ったで賞」の贈呈式が行われる…………… 20

オープンキャンパスに参加して…………… 20

オープンキャンパス当日の風景…………… 24

秋田お届け便

今年のねぶり流し物語…………… 麻 生 厚 司 …… 28

2014 秋田の風景あれこれ …… 29

支部便り…………… 30

東京支部の一木会が350回突破 …… 川 口 博 靖 …… 32

北から南から…………… 33

母校便り…………… 40

事務局から…………… 42

活動支援寄附者御芳名…………… 43

訃報…………… 45

編集後記…………… 46

～北光会年会費・活動支援寄附金について～

《平成26年度年会費納入のお願い》

010-0001
秋田市中通1-2-3 千秋公園M-505

北光 太郎 様 (30) (例)

M126-M8765

735860949143a

ヤマト運輸株式会社
この封筒は、郵便局までにお持ちください。
お送り先は、封筒裏面に記載されています。

011-141
0120-11-8010

735860949073

既に年会費を納入いただいている方の最終納入年度は会報送付封筒の宛名ラベルのバーコード上に数値が入っておりますので、ご確認くださいようお願い申し上げます。納入、誠にありがとうございます。

※(例)では平成30年度分まで納入済みを示します。5月27日に銀行口座自動振替された方は26自と記載されております。

いずれかの用紙をご利用のうえ年会費の納入をお願い申し上げます。

過去に未納入分がある方でも、今年度分からの納入で結構です。

①郵便振込の場合

02 秋田 払込取扱部 通付払込用紙 加入者用紙

02510-5 1231

秋田大学 北光会

北光会年会費 ()に〆をつけてください
☐ (1年分) 3,000円 ☐ (2年分) 6,000円
☐ (3年分) 9,000円 ☐ (5年分) 12,000円
 北光会活動支援寄附金 ()に〆をつけてください
☐ (1回) 5,000円 () ()

秋田大学 北光会

秋田大学 北光会

年会費

- 1年分 3,000円
- 2年分 6,000円
- 3年分 9,000円
- 5年分(前納入割引)12,000円

②コンビニ振込の場合のみご使用ください

お支払のご案内

お支払番号: 010 0001

卒業年次・会員番号

秋田大学 北光会

お支払方法

お支払に際するご注意

お支払金額

お支払期限

お支払場所

お支払方法

お支払に際するご注意

お支払金額

お支払期限

お支払場所

《活動支援寄附金のお願い》

昨年度、会員の皆様へ活動支援寄附のお願いしたところ、多くのご芳志をいただきました。厚く御礼申し上げます。活動支援寄附金の趣旨については「北光」156号28頁をご参照くださいますようお願い申し上げます。平成26年3月21日の理事会での決議に基づき、活動支援寄附金の募集を継続することとなり、会員の皆様全員へ郵便局専用払込用紙を同封させていただきました。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい北光会となる意識改革を ～若年層の理解を得るために～

菊 地 芳 朗 (GS34)



今年の総会は19年振りに札幌で行いました。総会終了後、ノーベル化学賞受賞者 鈴木章北海道大学名誉教授から「ノーベル化学賞を受賞して」と題しご講演を頂きました。北光会としては、今まで経験のないことで、ご努力頂きました北海道支部

の皆様にお礼申し上げます。

加えて、この原稿の締め切り間際に本号で紹介しておりますように、6月にお亡くなりになりました角銅立身氏 (BS23) のご遺族より世界記憶遺産・山本作兵衛氏炭坑記録画の原画2点を鉱業博物館に寄贈して頂くことになりました。ご遺族を始め関係者の皆様にお礼申し上げます。

さて、今年の夏は異状気象でした。各地に气象台が観測してから初めてという集中豪雨があり被害をもたらしました。広島市では土砂災害で74名の尊い命がなくなりました。ご冥福をお祈り申し上げます。会員の皆様は如何であったでしょうか。災害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

集中豪雨と云えば、若い頃当時の北ボルネオのジャングルで地質調査をしていた頃、スコールを経験しました。最近の国内の豪雨は、南国のスコール以上の気がします。しかもスコールは一時的ですが、最近の豪雨は長時間に亘ります。国土の保全と安全対策の見直しが必要と思われます。

また、海外への渡航歴のない人がデング熱に感染しており、拡大の兆候があります。

これらの原因は温暖化のせいでしょう。蜜柑の生産地が東北地方となり、お米の美味しいのは北海道産米が多くなるのもそんなに遠くないのかも知れません。

さて、北光会のことですが、最初に活動支援金寄付をお願いしましたところ多くの皆様からご援助を賜り厚く御礼申し上げます。

3月末の合計は237万円でしたが、4月に「北光」を発行してから現在まで更に133万円のご芳志を頂きました。改めて感謝申し上げます。今後も引き続き行いますのでよろしくお願いいたします。

北光会は国際資源学部と理工学部の同窓会となりました。組織が大きくなりましたが、最大の課題は会の活性化と会費納入率の向上で、これに伴う財政のことです。会費の納入状況を分析してみますと、一にも二にも納入率向上には若年層対策につきることが判明しました。しかしながら卒業した若年層とのコンタクトは事務局長のブログなど色々対策を取っておりますが極めて困難な状況にあります。理解頂くためには準会員(学生)の時から北光会を理解して頂くことが必要と考えます。

両学部は本年度から創立75周年・100周年の基金を返済の必要ない給付型の奨学金として給付することになりました。

給付する時に「この奨学金は北光会からも協力して頂いているものです」と話して頂くようお願いし、了承を得ております。

一方北光会としては昨年、秋田支部と大学支部が共同で企業見学を行い、準会員も参加し好評でした。今後もこの様な準会員も参加出来る活動を進めて頂くよう地元の両支部をお願いしているところです。

ここで私ども自身のことを考えてみたいと思います。

私どもは学部の基盤を資源に置いてきました。しかしながら平成に入る頃より国内の鉱山は激減いたしました。そして平成2年に学科名の変更、平成10年には学部名を変更しました。卒業生の多くは資源と関係ない企業に勤めるようになりました。そうしたなかで開学の精神を資源において創立100周年の活動を行ってきました。

会費未納者は平成2年に学科名が変更され、その方々が卒業した平成6年から多くなっております。

この度、両学部が誕生したことで定款の目的等を改正いたしました。これからは資源と共に理学や工学と幅の広い考えで行かなければなりません。そのためには新しい北光会となる意識改革が必要ではないでしょうか。そして若年層から理解を頂くよう努力し、会の活性化と会費納入率の向上に努めなければなりません。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力ください。

訃 報

角 銅 立 身 (BS23) 北光会顧問 ご逝去

角銅立身様は平成26年6月22日ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

(北光156号発行後連絡を受けた方々) 連絡先については事務局にお問い合わせ下さい。

科・年	氏 名	逝去年月日	FS23	鈴 木 恒太郎	東京都	H25年 8 月
BS14	鈴 木 正	秋田県 H26年 5 月23日	MS23	小笠原 厚	神奈川県	H26年 8 月 4 日
BS16Z	吉 村 政 幸	東京都 H26年 4 月22日	MS23	小 林 昭二郎	千葉県	H26年 8 月14日
MS16K	川守田 政 英	千葉県 H26年 5 月 6 日	MS23	和 田 高	宮城県	H25年 8 月
ES16K	沓 沢 春 雄	大阪府 H25年 9 月 6 日	OS23	堀 木 健 一	北海道	H25年11月27日
MS16Z	田 中 久治郎	兵庫県 H26年 6 月 5 日	ES24	小 野 茂 雄	秋田県	H25年
ES17	石 崎 政 勝	宮城県 H25年 9 月 1 日	ES25	加 藤 寛	秋田県	H22年 6 月3日
ES17	奥 田 温 郎	愛知県 H26年 3 月 6 日	KS25	国 井 治 久	秋田県	H26年 2 月24日
ES17	尾 張 英 一	神奈川県 H26年 3 月23日	MS25	若 林 斉 治	秋田県	H24年
BS18	鳥 越 康 夫	福岡県 H26年 4 月 2 日	FS26	喜 多 梅 吉	秋田県	H26年 5 月25日
KS18	柴 田 真 二	秋田県 H25年12月 2 日	TS26	吉 田 裕 人	福島県	H25年 2 月22日
MS18	佐々木 貞 英	秋田県 H23年 8 月27日	ES28	柴 田 和 雄	秋田県	H25年 7 月19日
ES19	樋 渡 尚 一	秋田県 H25年12月 9 日	BS29M	大 石 進	東京都	H25年11月10日
MS19	佐 藤 久 雄	山形県 H25年11月21日	BS30M	泉 谷 茂	北海道	H26年 4 月17日
MS19	中 野 一 成	茨城県	BS30M	小 縄 史 郎	岩手県	H25年12月16日
OS19	松 本 仙 一	東京都 H26年 3 月20日	BS30M	島 村 信 雄	群馬県	H25年12月31日
BS20	男 澤 文 義	H26年 8 月12日	ES32	北 原 陸 男	宮城県	H26年 3 月20日
BS20	北 島 正 男	神奈川県 H25年 9 月13日	BS33M	牧 直 夫	千葉県	H25年10月14日
HS20	佐 藤 康 七	新潟県 H26年 8 月24日	MS33	加賀谷 一 夫	埼玉県	H25年 9 月
FS20	滝 沢 達 児	神奈川県 H24年 2 月 7 日	GS37	工 藤 嘉 明	秋田県	H26年 4 月 9 日
BS22	石 井 一 雄	東京都 H19年12月30日	MS39	石 井 克 典	群馬県	H26年 1 月26日
BS22	斎 藤 淳 一	東京都 H25年12月	ES40	山 片 勝 司	秋田県	H25年 6 月17日
BS22	杉 本 誠	北海道 H25年12月22日	BS41	竹 下 勇	埼玉県	H26年 2 月16日
ES22	高 橋 和 雄	秋田県 H26年 4 月13日	ES41	佐 藤 秀 利	秋田県	H26年 6 月
FS22	谷 口 正 徳	千葉県 H25年 9 月20日	CS49	竹 内 敏 博	愛知県	H25年 6 月13日
MS22	檉 村 三 夫	神奈川県 H26年 4 月 9 日	GS57	川 上 中 正	千葉県	H26年 5 月25日
MS22	篠 塚 順之助	秋田県 H26年 2 月10日	MS63	工 藤 淳 也	東京都	H26年 4 月22日
OS22	長 岡 博	秋田県 H26年 3 月18日				
OS22	片 平 瑞 夫	宮城県 H26年 2 月11日				
BS23	中 村 茂	秋田県 H26年 4 月28日				
BS23	八 島 隆 一	福島県 H26年 9 月 4 日				
ES23	佐 藤 温	秋田県 H25年11月22日				
ES23	野 手 準 二	秋田県 H26年 4 月12日				



編集後記



この秋、秋田県では第29回国民文化祭・あきた2014が11月3日まで開催され、県内各地で様々な文化活動に関するイベントが行われました。秋田市では、オーケストラや邦楽、合唱などの音楽の祭典、日本舞踊、能狂言などの踊りの祭典、絵画や彫刻、書などの美術展が開催され、普段、文化的活動をほとんど行わない私にも興味深いイベントだったと思います。この国民文化祭は、少子高齢化が進む秋田県にとって、今後の生活を精神的に豊かにするためのヒントになるような気がします。また、工学に携わる我々にとっても、文化に対する見聞を広げることにより、教育・研究・開発の更なる応用が期待できると感じられました。皆様も新しい文化に触れてみて、更なる発想力を磨いてみてはいかがでしょうか。

さて、本号の北光では、8月に行われたオープンキャンパス「頑張ったで賞」受賞研究室からの寄稿が掲載されています。自分たちの研究成果を高校生たちにより理解してもらえるように、試行錯誤して研究紹介を行っている様子が窺え、受験生に対するアピールに大きく貢献していると感じられました。本賞の存在も、協力学生達のモチベーションに繋がっていることと思います。今後も会員皆様のご協力のもと、様々な形で秋田大学の発展に貢献していく様子を、「北光」誌面で紹介していきますので、ご期待ください。

高橋 秋典 (DH3)



発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田大学 北光会
URL: <http://www.hokkokai.com>
E-mail: info@hokkokai.com
電話 018(835)9822
018(889)2317
FAX 018(835)9822
振替 02510-5-1231

発行人 神谷 修(MS51)

編集委員

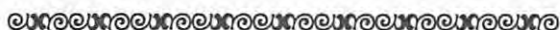
佐藤 祐美(WH2A)	芳賀 一寿(UH20)
近藤 良彦(FH5)	小松 芳成(CS57)
高橋 秋典(DH3)	宮野 泰征(MH11)
熊谷 誠治(EH7)	鈴木 雄(CH20)

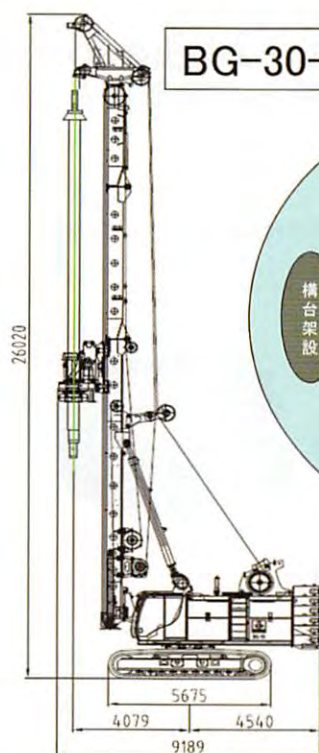
北光会事務局

事務局長	神谷 修(MS51)
庶務担当理事	鈴木 雅史(ES60)
会計担当理事	水戸部 一孝(EH3)
編集委員長	福本 倫久(AH10材)
ホームページ担当理事・コンピュータ担当理事	横山 洋之(DH1)

事務室 遠藤 福子、中川 心

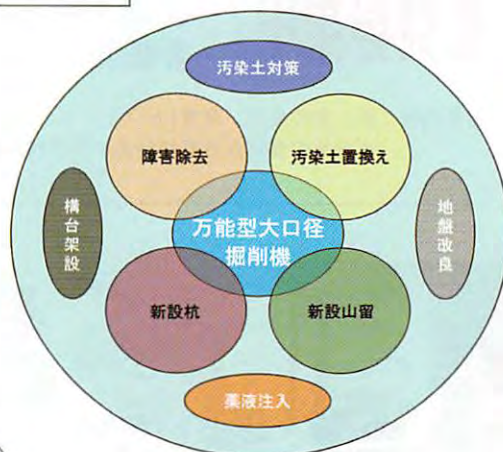
印刷所 秋田活版印刷株式会社





BG-30-2

“不可能を限りなく可能にする会社”



オールケーシング掘削で
対象とする地盤等

一般土質	
軟岩 I	○
軟岩 II	○
中硬岩	△
硬岩 I	△
硬岩 II	×
岩塊・玉石	○
転石	○
コンクリート	○
鉄筋コンクリート	○

○:適
△:可
×:不可

(注)施工の可否は地盤の条件によります。

人材募集中

FE 基礎エンジニアリング株式会社

代表取締役 藤川 長敏 CS53年卒

本社 〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-5 3F

TEL: 03-5783-6577 FAX: 03-5783-6575

E-mail: nagatoshi.fujikawa@kiso-eng.jp

機材センター 〒270-1603 千葉県印西市吉高向田1129

TEL 0476-80-3195 FAX 0476-80-3196

『お客様の技術を支える技術があります』

三菱マテリアルテクノは、お客様のニーズやお困りの問題を、お客様の立場に立って解決のお手伝いをする、トータルエンジニアリング&コンサルティング会社です。



プラント設備



電気計装工事



プラント建設工事



地中熱利用システム

大学・大学院新卒者募集 エントリーは <http://www.mmtec.co.jp> 採用情報から

三菱マテリアルテクノ株式会社

〒102-8205 東京都千代田区九段北一丁目14番16号

TEL 03-3221-1741 FAX 03-3239-8763